

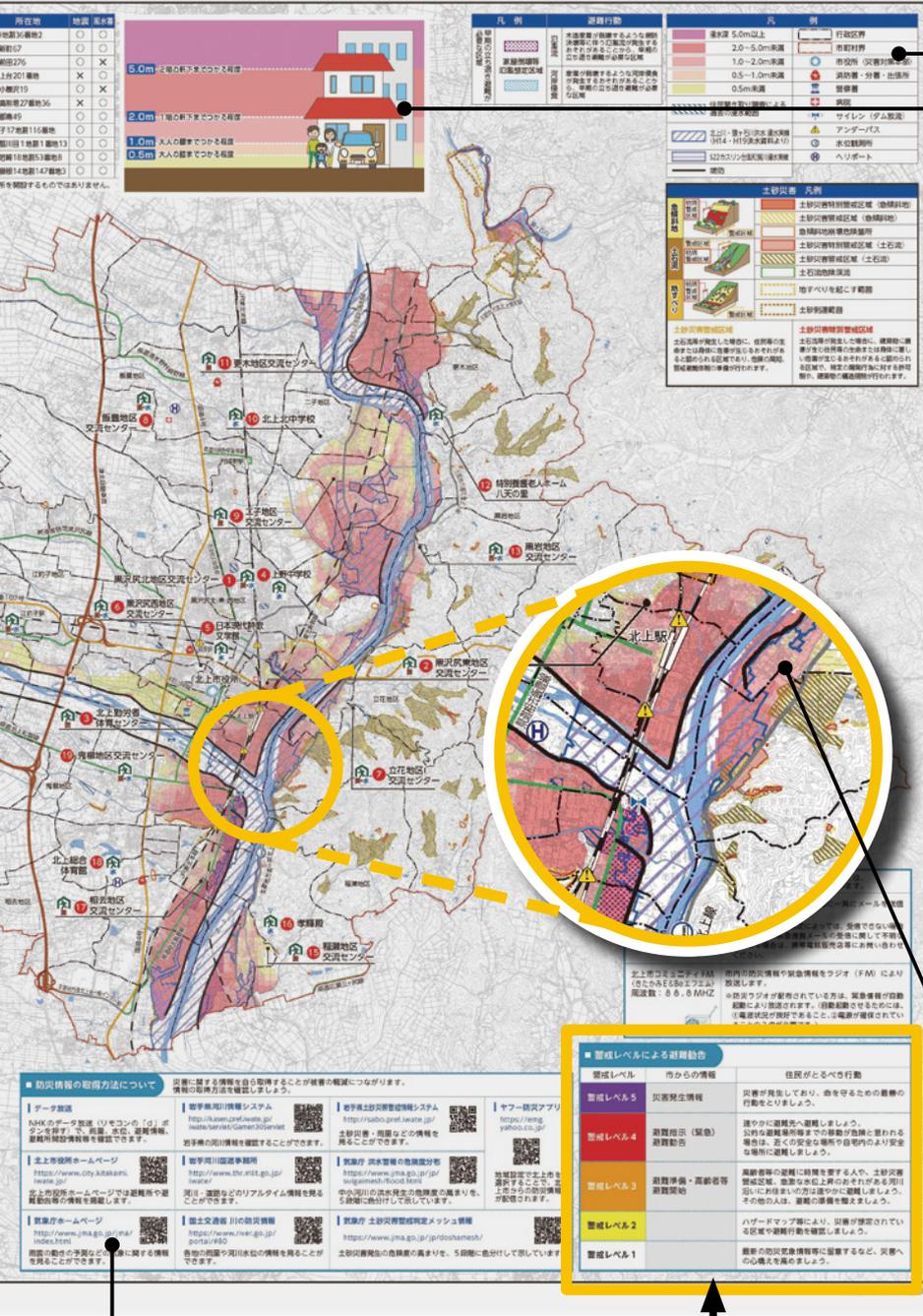
活用して

北上市洪水・土砂災害ハザードマップは、北上川や和賀川などの河川が氾濫した場合に浸水が想定されるなど、災害発生恐れがある危険な区域を示した地図です。各家庭にお配りしたハザードマップ(令和2年2月に全戸配布。以降は転入時に配布)で危険箇所や避難所などを確認し、大雨などによる災害発生リスクが高まるこれからのシーズンに備えましょう。

問い合わせ 危機管理課 ☎72-8306



ハザードマップ
インターネット版



水害・土砂災害の凡例

浸水の深さ(浸水深)のイメージ

ハザードマップの浸水深は、北上川と和賀川の異なる洪水条件での浸水想定区域を1枚の地図上にまとめるため、分かりやすく5色に分けています。2.0m~5.0mに当てはまっていたとしても、該当区域全てが5.0mまで浸水するというものではありません。

より詳しい浸水リスクは「浸水ナビ」で確認できます

国土交通省のインターネットサイト「浸水ナビ」では、北上川沿いで知りたい場所の浸水深を、より詳しく確認することができます。

例えば、北上駅東口の浸水深は、浸水ナビでは最大浸水深が3.32mですので、ハザードマップでは2.0m~5.0mの区域として表示されます。

浸水する恐れがある区域
想定範囲や浸水の深さを5色と線で表示

浸水想定区域外も要注意!

ハザードマップでは、中小河川や用水路などの内水氾濫による浸水想定を反映していません。何も色が付いていないからといって、災害発生危険がないとは限りません。大雨時には、市などからの緊急情報を確認し行動してください。

防災情報の取得方法

災害の情報を自ら取得することが被害の軽減につながります。(5ページ参照)

切り取って、貼り付ける

避難行動のための情報を
これ1枚で確認

特集

ハザードマップを 風水害に備えよう

ハザードマップの見方

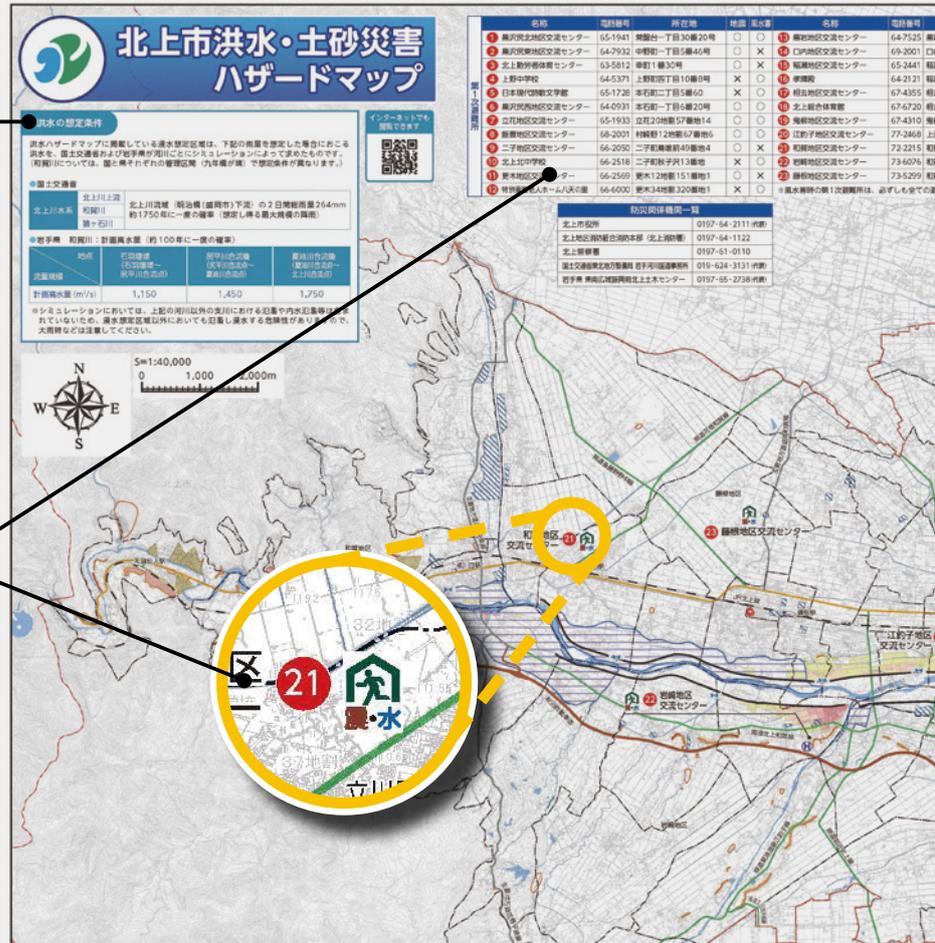
洪水の想定条件

北上川の浸水想定区域は、河川を管理する国土交通省が、約1,750年に1度の確率で起こり得る雨量(2日間総雨量264mm)でシミュレーションしたものです。和賀川の浸水想定区域は、河川を管理する岩手県が、約100年に1度の確率で起こり得る雨量でシミュレーションしたものです。ハザードマップの浸水想定区域は、河川ごとで想定条件が異なるのでご注意ください。
※岩手県では今後、北上川と同様の求め方による浸水想定区域に見直す予定です。

第1次避難所の場所

災害発生時に市が最初に開設する避難所を、赤丸と下記マークで示しています(震災時と風水害時で異なる地域あり)。マップの裏面には、各地域の第2次避難所も記載しています。
※避難所が変更された地域があります。最新の情報は市のホームページでご確認ください。

地震・風水害	地震のみ	風水害のみ
		
震・水	震	水



切り取り線

警戒レベルによる避難情報

警戒レベル	市からの情報	住民がとるべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	災害が発生しており、命を守るための最善の行動をとりましょう。

<警戒レベル4までに必ず避難！>

警戒レベル4	避難指示	危険な場所から避難しましょう。公的な避難場所等までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3	高齢者等避難	高齢者等の避難に時間を要する人とその支援者は、危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備または避難を始めましょう。
警戒レベル2		ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1		最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めましょう。

新しい避難情報に 更新しましょう

令和3年5月に避難情報の警戒レベルの名称が変更されました。お手持ちのハザードマップを更新していない人は、左表を切り取って、ハザードマップ表側の右下部分に貼り付けてください。
※広報きたかみ第725号(令和3年6月25日発行)に掲載した表と同じです。
※ハザードマップが必要な人には危機管理課で配布します。

ハザードマップの活用例



防災の考え方には、自身や家族を自ら守る「自助」、自治会や自主防災組織など地域の人々が協力して助け合う「互助」、自治体などの公的機関が行う「公助」があります。大規模な災害が発生すると、自治体や消防、警察などの公助だけに頼ることはできません。そのような事態を想定した自助・互助による対応力を強化する必要があります。また、災害発生時だけでなく、日ごろからの備えや防災対策でも、自助・互助による取り組みは大切です。そこで、ハザードマップを活用した自助・互助それぞれの備えの事例を紹介します。



市危機管理課職員サポートの下、娘の朱さんのお友達も参加して、ハザードマップを家族で確認しながらマイ・タイムラインに行動を記入。勤務中に大雨注意報が出たらリモートワークに切り替え、みんなで避難できるようにします



避難所に持っていく必需品をリスト化。貴重品だけでなく衛生用品、あると便利な小物類なども挙がりました。季節によって必要なものが変わりますが、常時使う物は緊急持出袋にまとめておくとう便利

避難所にはミケちゃんを同伴できるのか、避難1日前には確認するようにしました。持ち物リストには、ペットのイサヤトイレを追加



佐藤 圭さん

44歳、小島崎在住。会社勤めの傍ら、消防団第2分団第3部の班長も担う。家族は父、妻、娘とネコ1匹

自助

水害時マイ・タイムラインで避難時の行動を整理

水害時マイ・タイムラインとは、豪雨や台風の接近で河川の水位が上昇する時に備え、自分がとる行動を時系列に整理するものです。

今回、ハザードマップを使ってマイ・タイムラインの作成に挑戦したのは、佐藤圭さん一家。自宅は北上川から300mほどの所にあります。ハザードマップで確認すると、浸水深1.0〜2.0mの浸水想定区域（国交省の浸水ナビでは1.23m）に含まれています。水害時の避難先は2km先の上野中学校です。大型台風が接近することを想定し、どの時点で何をやっておくのか、準備しておくとは何か、避難所へ持っていく

く物のリスト化、避難の仕方などをみんなで話し合いました。また、行動内容を時系列に書き込んで整理しました。圭さんは「自分だけでなく家族の安全も考えなければなりません。マイ・タイムラインを作っておくと、いざという時に慌てることはない」と、自助の重要性を改めて実感していました。

皆さんも作ってみましょう

避難時に慌てず適切な行動が取れるように、水害時マイ・タイムラインで整理しておきましょう。様式は市のホームページから入手できます。



できました！
みんなも作ってみてね



情報収集の手段

北上市防災情報メール

事前登録すると、緊急時に災害情報などをメールでお知らせします。以下の登録用メールアドレスに空メールを送信し、返信されたメールのURLにアクセスして登録します。

✉ bousai.kitakami-city@raidan.ktaiwork.jp

きたかみE&Beエフエム

北上市のコミュニティエフエムです。ラジオ周波数は88.8MHz。災害時には市内の警戒レベルや避難所などの情報を発信します。サイマルラジオのFM++(エフエムプラプラ)では、インターネットでも聞くことができます。



北上市公式ホームページ・フェイスブック

緊急情報や避難所情報などをお知らせします。



Yahoo!防災速報アプリ

事前に設定した地域の情報や、現在地の情報リアルタイムに送られてきます。



NHKニュース・防災アプリ

テレビと連動した情報が確認できます。現在地の災害情報や雨雲情報などを見ることができます。



気象庁ホームページ

気象警報・注意報、台風情報など気象庁が発表している防災気象情報を確認できます。



共助

地域との定期的な情報共有で高齢者の安全確保

高齢者福祉施設の中には、地域住民と一緒に避難訓練などを行い、共助による避難に備えている施設があります。グループホームいこいの家（医療法人社団敬和会）に勤務する小田澤祐司さんは、令和元年の台風19号が発生した当時、同系列の小規模多機能ホーム横川目に勤務していました。ここは、ハザードマップ上では和賀川の氾濫による浸水想定区域に位置していません。しかし、和賀川支流の尻平川から300mに所在し、近くには水路があるので決して安全とは言えません。

避難に時間を要する高齢者や障がい者の迅速な避難のため、小田澤さんは迫りくる台風19号の情報を収集しながら、避難先の和賀地区交流センターにも受け入れ状況を確認。警戒レベル4が出された時点で、自主的に施設の利用者を避難させました。「ハザードマップの確認を基本としつつ、地域の皆さんと日ごろから危険な箇所などの情報を共有している。避難当日も地域の皆さんに協力していただき、利用者を無事に避難させることができた」と、共助による避難のありがたみを振り

返ります。また、実際に避難を経験したことで、避難の大変さや必需品は何かを身をもって知りました。「避難先のトイレは車いすでの利用が難しかった。これも経験で分かったこ

とだが、事前の確認や準備は大事」と反省も。「自主的な避難の判断は難しいが、利用者の安全確保のためにもハザードマップや地域との連携で臨機応変に対応していきたい」と、今後を見据えています。



(上)施設の壁にハザードマップを貼り出し、職員も利用者も目に留まるような工夫でみんなの意識を高めます(右)緊急時のための備蓄品。食料品はもちろん、電池や電灯、ポータブルトイレなど、利用者によって必要となる介護用品も準備



小田澤 祐司さん

医療法人社団敬和会 看護小規模多機能ホーム日高見／グループホームいこいの家 管理者
施設管理者として日ごろの防火点検や避難訓練の実施を主導する